【JPrOS 通信 No.364】 2021.03.13 第 18 回北里疾患プロテオーム研究会のご案内

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 364 号 ★★★

2021.03.13

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局 (info@jhupo.org) にお願いいたします。

■■■ 第 18 回北里疾患プロテオーム研究会のご案内 ■■■

会期: 2021年3月19日(金) 13:30~18:00

会場:オンライン開催(先着100名)

参加費:無料

日本プロテオーム学会員の皆様

平素より日本プロテオーム学会にご協力いただき誠にありがとうございます。

北里大学理学部の小寺義男先生より第 18 回北里疾患プロテオーム研究会開催のご案内が届きましたのでお知らせいたします。

ご案内サイト

https://www.kitasato-u.ac.ip/sci/univ/physics/news/n20210312.html

参加申し込みサイト (先着 100 名)

http://bit.do/fPvMy (参加申込締期日 2021年3月17日(木) 17:00まで)

詳細は下記のとおりです。

第 18 回 北里疾患プロテオーム研究会

一 様々な方向に広がるプロテオミクスの最前線 一

(2020 年度北里大学共同研究(AKPS)振興資金支援事業)

日 時 2021年3月19日(金)13:30~18:00

開催方式 オンライン

参加申込サイト http://bit.do/fPvMy(先着 100 名)

主 催 北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター

後 援 日本プロテオーム学会

【プログラム】

開会の挨拶 [13:30-13:35] 北里大学理学部 小寺 義男 【第 1 部】 北里大学共同研究(AKPS プロジェクト)進捗報告 [13:35-14:30] プロジェクト名

「血液一滴の可能性を拓く-独自のプロテオーム解析技術を用いた血液を対象とした最先端研究基盤の確立—」 研究代表者 小寺義男

【第2部】招待講演 [14:40-17:15]

- 1. Surfaceome 解析と自己抗体解析を駆使した卵巣がん新規診断マーカーの獲得 MD Anderson がんセンター・福島県立医科大学医学部基礎病理学講座 小林 信
- 2. エクトドメインシェディング基質切断部位の大規模解析 慶應義塾大学総合医科学研究センター 津曲 和哉
- 3. ChEP-SWATH による Chromatome 解析 新潟大学大学院医歯学総合研究科 幡野 敦
- 4. Gel-Based Proteomics の新戦略 ートップダウン質量分析と SDS-PAGE の融合ー 愛媛大学先端研究・学術推進機構学術支援センター 武森 信暁

【第3部】特別講演 [17:15-18:00]

「マルチオミックス解析におけるプロテオミクスの重要性」 かずさ DNA 研究所、臨床オミックス解析グループ 小原 收

問い合わせ先

北里大学理学部附属疾患プロテオミクスセンター 小寺義男(kodera(@)kitasato-u.ac.jp)